



攻める大学。変えよう、世界を。



全員参加の海外プログラム



【使命 *Mission*】

1. リーダー輩出
2. 地域イノベーション
3. グローバル発信

1年次全寮制



大学キャンパスはエコの展示場

信州の気候・風土を活かし、環境統合技術を効果的に組合せた「サステナブルキャンパス」

トップライト (自然採光)

天窓や中庭による自然採光。
ガラスの壁をふんだんに活用

木複合断熱 カーテンウォール

高い断熱性能と、明るく
開放的な空間を両立

太陽熱 集熱屋根

冬期は太陽熱で暖められた空気
を暖房に利用。夏期は排熱する
ことで冷房負荷低減

ナイトパージ

夜間に建物の蓄熱を排熱
し、冷房負荷を低減

太陽光発電

食堂屋根に設置

県産材・既存 樹木の活用

県産材の積極的利用、
地産地消、既存樹木の
活用

自然通風

快適な中間期の気候を
生かして自然通風を
取り入れ、空調を制御

外殻構造・外断熱

外側を断熱材で覆うことで、
冬期は躯体を冷やさず、快
適な温熱環境を実現

地中熱空調システム

年間を通じて安定した、地
中の温度を利用して省エネ
を図る（1階床）

使用エネルギーの 見える化

両キャンパスのデータ公開
により使用量把握し、エコ
意識を高める

※ 国土交通省の「平成27年度第2回サステナブル建築物等先導事業」の採択を受けました。

CSIにおけるSDGsの活動

CSIは、長野県内の企業や市町村から、毎年500件を超える相談を受けています。

2019年7月5日に、佐久市で地域課題の最前線に立つ行政職員やパブリックセクターに関わる人を対象に、「Innovation×SDGs～芸術家/起業家の視点から地域経営を見直す」を開催。

Innovation× SDGs



**Innovation×SDGs～芸術家
起業家の視点から地域経営を見直す**

見えないものを見ようとする
努力から始めたい
と思います。

Ethical

長野県版エシカル消費推進事業調査



学生が自治体の協力も得てエシカル消費の現場を訪ね、飲食、伝統産業、観光、食品加工、芸術など幅広い分野の事業者を取材するスタディツアーを実施。

また、エシカルな食材を、実際に自分達で使用して、長野県が受け入れている海外技術研修員から、ブラジルの郷土料理を学生が教わり、味わう企画を行った。

長野県SDGs推進企業登録制度



県が2019年に全国で初めてスタートし、本学も同年9月に第1期登録企業として参加。SDGsの取組を加速させるため、前向きに具体的なアクションに取り組む姿勢とプロセスを評価する、加点方式の制度。

【長野県立大学の重点的な取組み】

- ▶ 教育の質を高め、グローバルな視野を持って活躍しSDGs目標を実現できる人材を輩出する
- ▶ 学生支援や事務業務にAIを導入し、サービス向上と労務環境を改善する
- ▶ 教職員・学生一人当たりエネルギー使用量を削減する（排出CO₂の削減）

新たな挑戦 ～CO₂フリー電力の調達～



※ イメージ

国公立大で初の

再エネ100%大学

2021年4月1日スタート

中部電力ミライズ様より
信州産の水力発電由来の
CO₂フリー電力を調達

大学の温室効果ガス
3 / 4 を削減

杉の木が1年間に
吸収するCO₂量

約**50,000**本に相当

大学間連携による推進

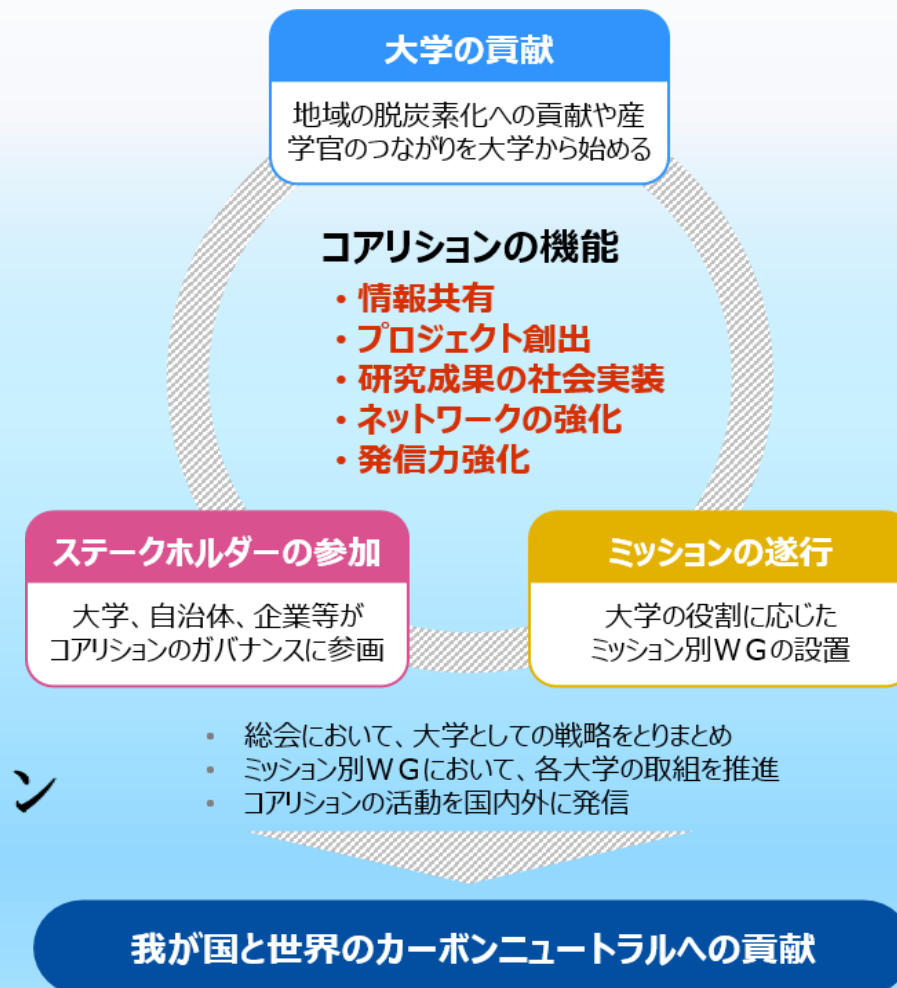
大きな2つの活動に参加し、先進的な大学などと連携することで、長野県のゼロカーボンを推進。

1 自然エネルギー大学リーグ

千葉商科大学など首都圏の5大学が呼びかけ、知見の共有などを通じて、自然エネルギーの活用を促進し、大学活動に伴う環境負荷の抑制を目指す。

2 カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

国、自治体、企業、国内外の大学との連携を通じ、地域の脱炭素化に一層の貢献を図る。



(参考：大学等コアリション構想)

「総合知」を象徴する大学院の創設
令和4年4月に2つの研究科が開設する。

ソーシャル・イノベーション & ヘルス・ニュートリション
県のゼロカーボン政策とSDGs政策を全面的に支援する。

